

総合的な学習指導案

指導者 吉野 和美

實石 雅子

- 1 日 時 平成17年11月2日(水) 第5校時
- 2 学 級 第5学年1組
- 3 単元名 「あなたならどうする著作権」 (1/1 時)
- 4 単元の目標

- (1) 既習事項をもとに、著作権フリーについて進んで考えようとする。 (関心・意欲)
- (2) 友達の見解と比べながら情報を収集、整理することができる。 (情報活用の実践力)
- (3) 著作権を守るための正しい判断力を養う。
著作権のルールを尊重することができる。 (情報モラル・責任)

授業について～Q&A～

Q1 一言で言うと、この単元では、どんな力を付けさせたいですか。

著作権に対する意識を高め、正しい判断力を養うことです。

Q2 単元の中で、本時はどのような位置付けですか。

今まで人のものを真似してはいけないことや、人が作ったものを使うときには許可を得る、あるいは、調べ学習のときは引用を明らかにして進めるなど、著作権を尊重して行動することを指導してきました。

本時は、「著作権フリー」について考えます。この言葉が使われていれば、どんな場合でも使用してもいいのかどうかを立ち止まって考えることで、自分で判断する力を養う時間として位置づけました。この時間に学んだことは、各教科が日常生活の中に広げていきたいと考えます。

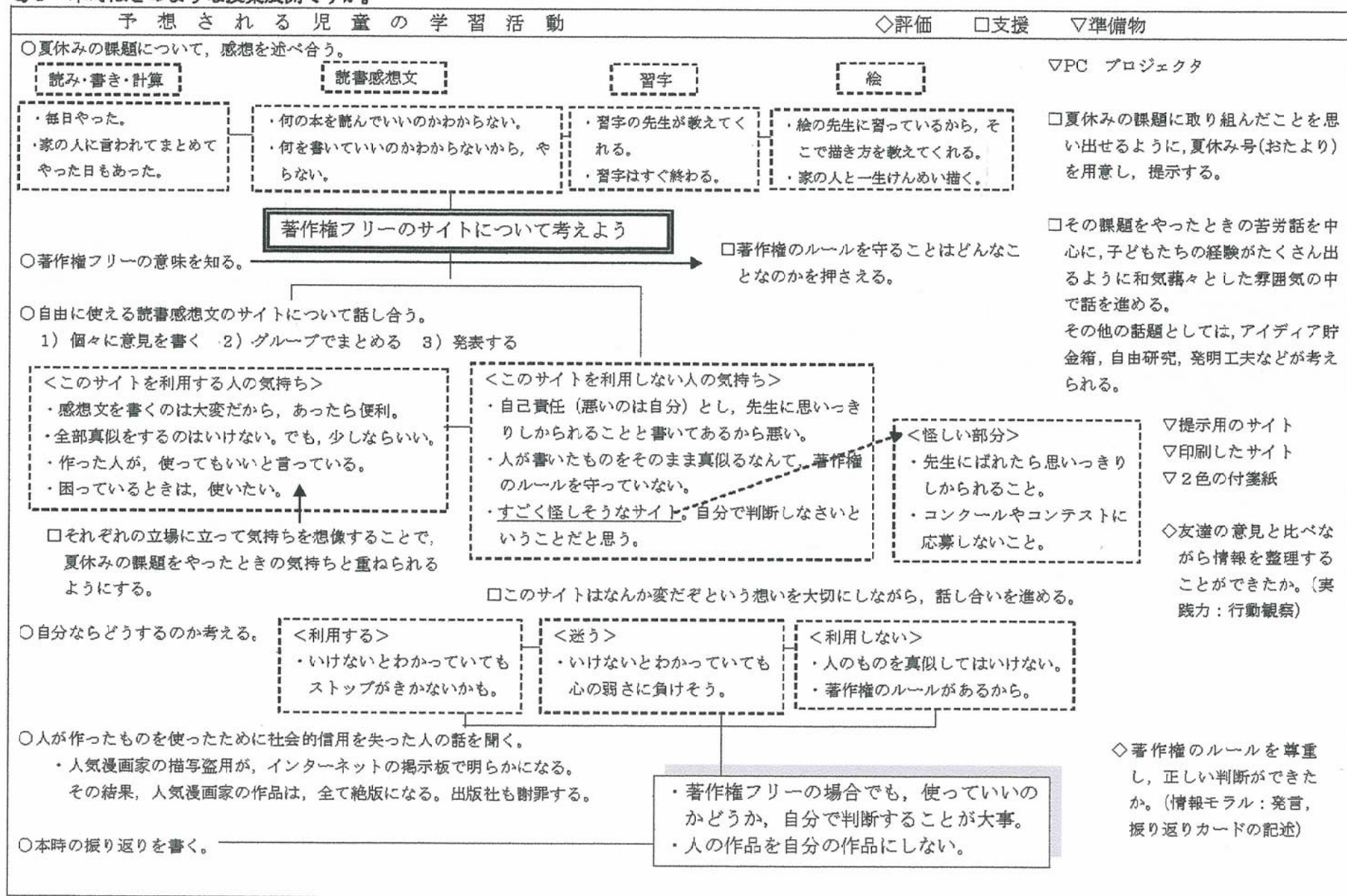
Q3 本時の授業の「うり」は何ですか。

教師が作成した著作権フリーのサイトを使って、利用する人や使用しない人の気持ちを付箋紙に書き表しながら、意見交換を行うところです。

Q4 本時の授業のねらいは何ですか。

わかりやすい著作権の侵害の問題なら判断できる子どもたちが、「著作権フリー」と書いてあるサイトを調べることを通して、「著作権フリー」と書いてあっても自分で立ち止まって判断する必要があることがわかる。

Q5 本時はどのような授業展開ですか。



<利用する>

- ・いけないとわかっていてもストップがきかないかも。

<迷う>

- ・いけないとわかっていても心の弱さに負けそう。

<利用しない>

- ・人のものを真似してはいけない。
- ・著作権のルールがあるから。

・著作権フリーの場合でも、使っているかどうか、自分で判断することが大事。

・人の作品を自分の作品にしない。